

令和7年3月

直診協会だより



VOL.
196

令和7年3月
CONTENTS

<u>第64回全国国保地域医療学会（岩手県）</u>	<u>2</u>
<u>令和6年度関東甲信静地区国保診療施設協議会</u>	<u>4</u>
<u>令和6年度千葉県国民健康保険直営診療施設協会表彰式</u>	<u>6</u>
<u>会議の開催状況</u>	<u>10</u>
令和6年11月9日：臨床検査部会研修会（ポートプラザちば）	
令和6年12月14日：薬剤部会研修会（WEB）	
<u>行事食</u>	<u>12</u>
横芝光町立東陽病院 栄養科	
<u>Go to エンジョイ♪ in いすみ市（地域紹介）</u>	<u>13</u>
いすみ市役所 水産商工観光課	

第64回国保地域医療学会

令和6年10月4日（金）、5日（土）に岩手県盛岡市にて、第64回国保地域医療学会が『地域包括医療・ケアで地域の「絆」をより強く～地域医療学会発祥の地「イーハトーブ」から未来へ発信～』をテーマに開催された。

アイーナ（いわて県民情報交流センター）7階第1会場にて開会式が行われ、磯崎学会長（岩手県洋野町国民健康保険種市病院長）をはじめ、国診協の小野会長、国保中央会の原理事長、岩手県国保連合会の山本理事長（宮古市長）らが挨拶をした。



会場アイーナ



会場アオッサ



展示スペース

引き続き同会場にて、表彰式が行われ、国診協の海保副会長が挨拶をされた後、令和6年度国診協会長表彰総数73名（内千葉県22名）が表彰された。

続いて、「国保地域医療学会の礎～岩手県地域医療研究会の歩み」と題して、岩手県一関市病院事業管理者である佐藤元美氏より特別講演が行われた。



海保隆国診協副会長 挨拶

午後には、国保直診開設者サミットが開催され、国診協開設者委員会委員長の当協会の岩田会長（東庄町長）が司会者として出席した。テーマは「生涯を住み慣れた地域で過ごすために～自治体と国保直診で構築する地域包括ケア体制～」と題して、国保診療施設開設者、市町村長、学会参加者が国保直診を取り巻く状況や開設者と国保直診のより一層な連携協力の重要性等について意見交換を行った。



司会の岩田会長

地域医療交流会では、全国の国保直診関係者が集い、情報交換を行った。名物のわんこそば等が振る舞われ、大変な盛り上がりを見せた。



地域医療交流会の様子

2日目には、シンポジウム「高齢・人口減社会における過疎地での地域包括ケア体制のあり方～国保直診に求められる役割とデジタル化の推進～」が開催された。

最後に次年度開催地の和歌山県から挨拶があり、阿部副学会長が挨拶をし、閉会を宣言した。



令和6年度関東甲信静地区国保診療施設協議会

令和6年10月24日（木）に長野県ホテルメトロポリタン長野にて、関東甲信静地区国保診療施設協議会が開催された。

○会長会議

協議会に先だって、各県の会長による会議が開催され、大塚副会長（埼玉県川口市立医療センター病院事業管理者）の退任に伴う、欠員役員の選任及び令和8年度開催担当県について、協議が行われた。

欠員役員の任期は、令和6年10月24日から令和8年3月31日までで、後任として同じく埼玉県川口市立医療センター病院事業管理者の國本聡氏が副会長に選任された。

次に、令和8年度の開催担当県については、輪番通り栃木県での開催が決定された。

最後に、令和7年度開催県である神奈川県から、令和7年10月23日（木）、24日（金）に神奈川県のナビオス横浜で協議会が開催されることが報告された。

○協議会

協議会は、開会に先立ち、関東甲信静地区国保診療施設協議会（以降、関プロ協議会という）川口会長（神奈川県小田原市立病院事業管理者）をはじめ、関東甲信静地区国保振興協議会を代表して東京都国保連合会の水田常務理事、開催担当県の長野県国保直診医師会の伊藤会長（長野県飯綱町立飯綱病院 院長）らが挨拶をした。

次に、来賓として、長野県健康福祉部の笹渕部長並びに、全国国保診療施設協議会（以下、国診協という）の小野会長から挨拶があった。

講演については、国診協の小野会長が『国診協の情勢とポスト2025年の地域包括ケア』と題し、講演をされた。続いて、同じく国診協の松島事務局長から本部報告として国診協の事業計画及び事業実施状況について報告があった。

その後、今年度は歯科保健部会が医科とは別室で開催することから歯科担当者は移動した。

提出議題協議（医科）については、神奈川県から『医療DXの取組みについて』、『未収金対策について』の2議題の提出があり、各都県から議題に対しての発表及び報告がなされた。

また、長野県から『行政（長野県南部5町村）で目指している地域医療法人について』議題提出があり、立ち上げを検討していることから各県に情報共有を求め、協議された。

歯科保健部会については、始めに関東甲信静地区歯科保健部会の高橋会長（茨城県常陸大宮市国保美和診療所所長）から挨拶があった。

続いて、『歯科医療とがん医療』と題し、信州大学歯科口腔外科教室の酒井洋徳氏を講師として

講演がなされた。

提出議題協議（歯科）については、長野県から『国保歯科診療施設の継承について』議題提出があり、各県とも人材確保に苦慮している報告等がなされた。

関東甲信静地区国保診療施設協議会役員（任期：令和8年3月31日まで）

役職名	氏名	都県名	職名
会長	川口 竹男	神奈川県	小田原市立病院 病院事業管理者
副会長	國本 聡	埼玉県	川口市立医療センター 病院事業管理者
	柳澤 真司	千葉県	国保直営総合病院君津中央病院 病院長
	伊藤 一人	長野県	飯綱町立飯綱病院 院長

※慣例により上記役員を国診協役員に選出する。

令和7年度

開催地 神奈川県横浜市中区新港2-1-1「ナビオス横浜」

開催期間 令和7年10月23日（木）、24日（金）

令和8年度開催担当県 栃木県に決定



主催者挨拶：
神奈川県の川口会長



講演の様子：国診協の小野会長



協議会の様子



歯科保健部会の様子

令和6年度千葉県国民健康保険直営診療施設協会表彰式

令和6年11月28日（木）にオークラ千葉ホテルにて、令和6年度千葉県国民健康保険直営診療施設協会表彰式が開催された。

本表彰式は、会員施設宛てに実施した直診医療学会に関するアンケートにおいて、各会員から新型コロナウイルス感染症をめぐる対応を優先することとし、令和6年度及び令和7年度の2か年度は、直診医療学会の開催を見合わせてはとの意見があり、理事会及び総会において、その代替事業として、表彰式及び講演会を開催することとなった。

開会にあたり、海保常任理事から主催者挨拶があり、来賓として千葉県健康福祉部の井本次長、国診協の小野会長らが挨拶をした。



海保常任理事挨拶



千葉県井本次長挨拶



国診協小野会長挨拶



会場の様子

続いて、表彰式が行われ、始めに千葉県知事感謝状の贈呈が行われた。令和6年度該当者は38名で出席された受賞者の名前が読み上げられ、代表して旭中央病院 助産師長 大木和子氏にステージ上で賞状が授与された。

次に千葉県国民健康保険直営診療施設協会会長表彰の贈呈が行われた。令和6年度該当者は125名で出席された受賞者の名前が読み上げられた。代表として東陽病院 主任技師 上山典子氏にステージ上で賞状が授与された。

その後、受賞者の代表として、知事感謝状受賞者の松戸市立総合医療センター 診療局副局長 河本泰成氏が謝辞を読み上げた。



知事感謝状贈呈



協会会長表彰



代表謝辞

続いて、海保先生を座長に公開セミナーとして講演が行われ、直診関係者及び一般の地域住民にも視聴が可能となるようオンライン配信も行った。

始めに「健康は口から始まる！口腔ケアの重要性とは」と題して、君津中央病院歯科口腔外科部長の神津由直氏を講師に迎え、正しいブラッシング方法や定期的な歯科受診の重要性、口腔ケアが心身ともに豊かな人生に繋がることについて講演をいただいた。

次に、「医療政策をめぐる課題と展望」と題して、国際医療福祉大学大学院教授の島崎謙治氏を講師に迎え、人口構造の変容や国で議論されている地域医療構想等の医療政策、診療報酬と人勧について講演をいただいた。



神津先生講演



講演の様子



島崎先生講演



座長の海保先生

講演後には、交流会が開催され、出席者らが楽しそうに意見交換等を行っていた。



交流会の様子

直診医療学会の代替事業として、初めての表彰式ということもあり、至らない点もあったかと思いますが、無事に開催することができました。ご協力をいただきました皆様に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今後も会員施設にとって有意義な事業や講演等を計画して参りたいと考えておりますので、引き続きご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



講演をオンライン視聴していただいた方の感想をご紹介します。

直診関係者 G様

令和6年度千葉県国民健康保険直営診療施設協会表彰式の講演をWebにて視聴させていただきました。

国保直営総合病院君津中央病院 歯科口腔外科部長 神津由直先生より口腔ケアの重要性について、私自身、現在歯の歯科矯正をしており歯科へ受診する機会も多かったため、身近に感じ興味深い内容であった。

口腔内の常在菌は500~700種類と様々な細菌があり、歯垢（プラーク）1gの菌数は糞便1gより多いとされることから予防を怠ればこの細菌たちが様々な全身の病気を引き起こすことがわかる。また「世界で最も一般にまん延している感染症は歯周病である」とギネスブックに記載されていることを初めて知り、我々にとって最も身近な感染症で毎日行う1日3回の歯磨きの重要性を改めて感じる事が出来た。

ここで講演内でも説明があった正しい歯磨きの仕方について改めて紹介します。

- ① 歯ブラシの硬さ→かためは歯肉を傷つける恐れがあるためふつうが望ましい。やわらかめは歯肉に炎症が見られたときに使用するとよい。
- ② 歯ブラシの交換時期→1か月を目安に交換する
- ③ 歯ブラシの持ち方→必要以上に力が入らないようにペンを持つのと同じ握り方で
- ④ 歯磨き剤の選び方→むし歯の予防効果があるフッ素入りが良い

歯磨きのやり方は子供のころ両親や大人から教わると再度教わる機会が少なく、磨き方について見直す場面が少ないと感じたため今回の講演で改めて自身が普段どのようなやり方で歯を磨いているのかを見直す良い機会となり、歯磨きへの意識を変えることが出来ました。死ぬまで毎日使っていく歯を最期まで使えるように日頃のメンテナンスが大事であると感じました。

次に国際医療福祉大学大学院教授 島崎謙治先生の講演について、医療政策をめぐる課題と展望をテーマに講演いただきました。現在、日本は人口が減少しているだけでなく85歳以上の高齢者の増加、生産年齢人口の減少も加速しており、より一層質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築していかなければならず、そのためには医療機関の機能分化・連携を進めていくことが重要であると感じました。また、医師の時間外労働規制についてお話があり、医師不足や人手不足も大きな課題であり、診療科偏在の対策として2018年日本専門医機構による新専門医制度の下に始まった「シーリング制度」を活用し、地域・診療科偏在双方の解決に向けた働きかけも重要と思いました。今後も少子高齢化はさらに進んでいくため継続的に考えていかなければならない課題で、医療従事者への働き方について今一度考えなおした支援をしていくことが必要であると感じました。

身近な歯科のお話や国の政策等多岐にわたる内容で大変参考になりました。また機会があればぜひ講演などに参加したいと思いました。ありがとうございました。

会議の開催状況

『令和6年度 臨床検査部会研修会』

- 日時 令和6年11月9日（土）午後2時～4時
場所 ホテルポートプラザちば 4階『房総』
演題1 『タスク・シフト/シェアについて（新人・中堅クラス向け）』
講師 千葉県臨床検査技師会副会長 匝瑳市民病院 布施義也氏
演題2 『接遇について』
講師 H.U.フロンティア株式会社 営業統括部 顧客サービス課 大場 千津子氏

○臨床検査部会の飯塚部会長（香取おみがわ医療センター）の挨拶から研修会が開催されました。研修会は参加者15名で開催され、講師と参加者が双方向で十分なコミュニケーションを取りながら講演が行われました。

○最初の演題である『タスク・シフト/シェアについて』では、講師の布施義也氏からタスクシフトやタスクシェアなどの具体的な事例をあげ、注意するポイント等を分かり易くご講演いただきました。



講演する布施講師

次の演題『接遇について』では、講師の大場千津子氏から相手との円滑なコミュニケーションを図るため、まずは自分自身を知ることが必要とのお話がありました。そのための手法として、自身のソーシャルスタイルを確認する演習を行うほか、チーム連携についての心構えなどのレクチャーがあり、受講者は熱心に耳を傾けていました。



講演する大場講師

また、それぞれの講義ではいくつか質問もあり、各講師から丁寧な回答をいただき、大変有意義な研修会になりました。



研修会の様子

『令和6年度 薬剤部会研修会』

日 時 令和6年12月14日（土）午後2時～

形 式 オンライン方式

演 題 「診療報酬改定から見る病院薬剤師評価の方向性～これからの薬剤師業務を考える～」

講 師 一般社団法人 日本血液製剤機構（略称“JB”）

事業本部 事業戦略部 主席 谷 澤 正 明 氏

○薬剤部会の鶴田部会長（松戸市立総合医療センター）の挨拶から研修会が開催されました。

この研修会は、オンライン方式で開催され、多数の方にご参加いただきました。

○谷澤先生は、色々なデータを基に「医療を取り巻く環境の基本認識」から、「ポスト2025年の医療提供体制」、「R06年度診療報酬改定が目指したもの」まで、軽快なトークで分かりやすく講演していただき1時間半の講演時間はあっという間でした。

また、講演終了後の意見交換も時間が許す限りお答えいただき大変有意義な研修会となりました。

『診療報酬改定から見る病院薬剤師評価の方向性』

～これからの薬剤師業務を考える～

一般社団法人 日本血液製剤機構（略称“JB”）
事業戦略部
谷澤 正明

本資料の無断転用はお断りします

行事食

東陽病院

クリスマスメニュー

12月24日提供



delicious



米飯
ミートローフ
ほうれん草のソテー
ポテトサラダ
クリスマスババロア

ミートローフ 作り方

- 1 玉ねぎ・にんじんは細かいみじん切りにする
- 2 ボールに合いびき肉・①の野菜・卵・パン粉・塩・コショウ・ナツメグを入れ、粘りが出るまでしっかりと混ぜる
- 3 鉄板に②をドーム型に形作り、200℃のオーブンで約30分焼きます。焼きあがったら粗熱をとりカットする
- 4 ケチャップとウスターソース同量を併せて加熱してソースをつくり上からかけて出来上がり



ポテトサラダ 作り方

- 1 ジャガイモ・ダイスニンジンを加熱する（ジャガイモは形が崩れるくらいニンジンも柔らかいくらい）
- 2 ジャガイモをフードプロセッサーにかけ滑らかにしてマヨネーズと塩コショウで調味する
- 3 ニンジンを混ぜてディッシャーで丸く盛り付ける



クリスマスババロア 作り方

- 1 ストロベリームースの素を牛乳を入れて攪拌しムース状にする
- 2 器に入れて冷やし固めて最後にホイップクリームを飾る



ほうれん草のソテー 作り方

- 1 ほうれん草・ピーマンスライスはスチームコンベクションで加熱処理する
- 2 短冊切のベーコン・①の加熱野菜をバターでソテーして味を整える



クリスマスメニューの紹介

★当院では手作りの暖かみを生かした美味しく彩り鮮やかな献立を目指して日々力を尽くしております。嗜好調査や日々のラウンドでのご意見を参考に患者様の嗜好に寄り添えるような味づくりを行っております。



■ 大原はだか祭り

毎年9月に行われ、地域一体となって盛り上がる伝統の秋まつりです。

五穀豊穡、大漁祈願を願い十数基の神輿が一斉に海へとかつぎこまれ、もみあう汐ふみ」や、夕闇のせまる頃、全ての神輿が小学校の校庭へ参集し、別れを惜しむ「大別れ式」など、海の男たちの情熱と優しさの両面を十分に感じるこの祭りには熱心なファンも多く、毎年多くの観衆でにぎわいます。



■ 太東埼灯台

太東埼は、九十九里浜の最南端に位置します。起伏に富んだ海岸延長は4.5km、標高は約10mから最高68.8mあります。南房総国定公園にも指定されています。灯台のふもとの広場では、雄大な太平洋の景色を望むことができます。



■ 万木城跡公園

戦国時代、攻防の舞台となった城跡は400年の時を経て、四季折々の花が咲き乱れる美しい万木城跡公園に姿を変えました。天守閣をかたどった展望台からは、いすみ市の美しい田園風景を一望することができます。



■ 波の伊八

浮世絵師として有名な葛飾北斎の作品「富嶽三十六景」「神奈川冲浪裏」の波に大きな影響を与え、波を彫っては天下一といわれた、初代「伊八」武志伊八郎信由が残した作品を市内でご覧いただくことができます。

- ・ 飯縄寺 いすみ市岬町和泉2935-1 0470-87-3534
- ・ 行元寺 いすみ市荻原2136 0470-86-3816

※拝観時間、拝観料等は各寺社にお問い合わせください。



■ 八幡岬と丹ヶ浦

太平洋を一望する雄大な景観と、かつて小浜城が築かれていた歴史から、古くより多くの歌人・詩人が訪れ、作品を残しました。近年では、映画「万引き家族」「TANG タング」などのロケ地としても人気のスポットです。



■ 札森・万木地区 桜ライトアップ

例年3月下旬～4月上旬の桜の開花に合わせ、札森地区と万木地区で、桜並木のライトアップを実施しています。田んぼの水鏡に映る桜や、川沿いに満開に咲く桜など、幻想的な夜桜の風景がお楽しみいただけます。(写真は札森さくら街道の様子。)



■ 大原漁港 港の朝市

毎週日曜に大原漁港で開催されている「港の朝市」では、いすみならではのイセエビ、地ダコなど、質の良い海産物をその場で味わい、そのままお買い上げもできます。また、海の幸だけでなく、地元事業者のバラエティに富んだフードや加工品も楽しむことができます。

(問い合わせ先 港の朝市協同組合 0470-64-4518)



■ イセエビ

いすみ市沖は、寒流（親潮）暖流（黒潮）の交り合う良好な漁場で、全国有数の漁獲量を誇る千葉県の中でもトップクラスのイセエビ産地です。いすみ市沖で育ったイセエビは荒波にもまれ身が締まり、色、艶、大きさどれをとっても天下一品、味も濃厚で市場で高く評価されています。



■トラフグ

いすみ市では近年フグの水揚げ量が増えて来ており、新たなブランドとして取り組みを強化しています。いすみ沖の豊かな漁場で獲れた、高品質でとってもおいしいフグを、ぜひご賞味ください。

※市内の飲食店にてフグをお召し上がりになる場合は、基本的に要予約となりますのでご注意ください。

(参考 「いすみdeふぐ」 <https://isumi-tourism.jp/isumi-fugu/>)



■いすみ米

皇室献上米にも選ばれ、有名デパートでも取り扱いのあるいすみ米は、「千葉の三大銘柄」に数えられています。適度な粘りと強いコシ、口いっぱいに広がる甘みが格別な上質米として知られています。



あなたの力を、
地域で活かそう！



看護師

君津中央病院
さんむ医療センター
長生病院
いすみ医療センター
香取おみがわ医療センター
匝瑳市民病院
大網病院
鴨川市立国保病院
鋸南病院

理学療法士

君津中央病院
さんむ医療センター
富山国保病院
鋸南病院

薬剤師

君津中央病院
さんむ医療センター
長生病院
香取おみがわ医療センター
大網病院
鴨川市立国保病院

作業療法士

君津中央病院
さんむ医療センター

臨床検査技師

君津中央病院
長生病院
富山国保病院

助産師

さんむ医療センター

医療従事者

募集

公益社団法人 TEL 043-256-8801

千葉県国民健康保険
直営診療施設協会





編集発行人
発行所



平山 寛
公益社団法人

千葉県国民健康保険直営診療施設協会
千葉市稲毛区天台6-4-3 国保会館3階
電話 043-256-8801